

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関は、半自動ドアであり、内玄関は常時施錠していた事をうけ、身体拘束の面か課題として取り上げられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に密着し、且つ開放的な事業所運営を目指す。</li> <li>・代表者、全職員が「地域密着型サービス基準及び地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解し、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組む。</li> <li>・事業所内外を含む身体拘束にむけた研修会参加の促しをすると共に、参加後伝達報告をし、情報を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関は、半自動ドアであり、左右に東西各棟の内玄関がある。これまで内玄関は常時施錠していた。外部評価後の指摘事項として掲げられた為、入居者・ご家族・出入りの業者・運営推進委員等から率直な意見を聞きだした。</li> <li>一部のご家族からは、「施錠＝入居者の身体拘束」という捉え方には繋がらない。むしろ「施錠＝外部からの危険から入居者を守る」という視点で施錠を続行してほしい旨の意見があがったため、現状のままでいいのか、視点を変えて安全安心を守るかも含め、全家族を対象に文章と口頭で意見を聞きその後検討する。</li> <li>・研修案内を周知徹底し、研修時間・研修費用等配慮する。</li> </ul>	6 か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。